

茨高
茨中

春 秋

発行
茨高・茨中 P T A
代表 砂 押 完 児
編集
茨高・茨中文化広報委員会
水戸市八幡町16-1
電話 029(221)4936
茨高・茨中公式ホームページ
<http://www.ibaraki-jsh.ed.jp>
印刷 いばらき印刷(株)



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。そして、卒業生を今日まで支え、見守ってきたご家族の方々や先生方にもお祝い申し上げます。

高校卒業は、皆様の人生における句読点でしかすぎませんが、人生における良い思い出となっていれば幸いです。

以前、聞いた話ですが、輪島塗という木製の工芸品は、木の切り出しから始まり、乾燥作業、研磨、漆塗りなどの一〇〇以上の工程を経て完成します。一人の職人だけで制作するものではなく、各々の工程で、そのスペシャリストが行うそうです。人も同じ様に磨かれるのではないかと思います。

人はたった一人の誰かが育てるものではなく、色々な経験や人との出会いから磨かれていくものです。様々な経験をして下さい。様々な機会を探して下さい。そして、様々な人と出会い、話して下さい。その一つ一つが皆様を素晴らしい人に磨き上げていくのだと思います。

もちろん、その道程では、今まで以上に、悩み、迷い、苦しむでしょう。そして、自分なりの答えを出して進んで下さい。もし、間違えたと思ったら、反省して、修正すればいいのです。まずは自分で考えること、そし

て決断すること。これが重要です。振り返れば、支えてくれる人たちがいます。悩んだ数だけ、磨かれていくと思います。

私が悩んだり、迷ったりしたときに唱える言葉「成功とは不自然なもの」を贈りたいと思います。私は凡人ですから、普通のままでは成長できません。だから、自分を積極的に変えないといけない。変化の途中はとも不自然に感じます。不自然だなどと思ったら、きつと成功に一歩近づいています。変化がないと思つたら、足踏みをしているのかもしれない。

変化がある人生を送り、是非、成功して下さい。成功といつても、金銭的に裕福になることではなく、人として自信を持ち、胸を張って生きていけることです。輝いている人になつて下さい。

私自身、道半ばですが、皆様のこれからの参考にさせていただければ幸いです。最後に、保護者の皆様には、コロナ禍の中、充分な P T A 活動ができなかったことをこの場をお借りして、謝罪させていただきます。その中でもご協力頂いたことに、敬意を表し、お礼申し上げます。そして校長先生はじめ教職員の皆様、ご指導、誠に有難うございました。心からのそして精一杯の感謝を申し上げます。

す。そして、卒業生たちの輝かしい未来とこれからの素晴らしい成長を祈念しております。



令和三年一月十四日(木)、高校三年生共通テスト激励会。残念ながら例年と異なり、放送による激励会となりました。共通テスト(昨年まではセンター試験)直前の高校三年生を対面で激励できなかったことはとても残念でした。私は、源氏物語の『葵』にある「魂はあくがるるもの」という表現を引用し激励しました。「人の魂は、その人の思いが非常に強いと体から抜け出す」という意味です。抜け出した魂は大切な人を支え助けます。「茨城高等学校・中学校のすべての魂は君たちを支える。応援する。力を出し切ってきてほしい。」と激励しました。高等学校そして中学校の三年生のみならず、報恩感謝の学び舎を築立つ君たちは、人と人が支え合うことの大切さとその可能性については十分理解しているはず。人と人が支え合う

ためには、誰かが強い思いを持っていることが必要です。本物の強い思いは、他者を変えます。そして課題を共有した協働(チームワーク)する集団は、予測を超えた結果をもたらします。まさに奇跡を起こします。予定調和の未来は君たちの前にはありません。君たちにはパラダイムチェンジを担う強さが求められています。

AIやロボットの進歩と人類はどう共存していくのか? 日本の人口は、三十年後には九五〇〇万人になると予測されています。二〇二一年の人口は約一億二六〇〇万人です。人口が三〇〇〇万人も減少した社会をどうデザインするのか? 日本という国は、G D



P等の経済指標とは別の全く新たな価値を創造しなければならぬのは二〇五〇年に四十歳代となっている君たちです。「自分を大切にしない。」そのためには「自分を支えてくれる人を大切にしない。」そして「社会に貢献できる人とならない。」という報恩感謝の精神は、新しい時代の価値を創造するために必須のものを示してくれています。

自分のことは、自分には見えません。自分を見てくれている人・支えてくれている人の言葉に耳を傾けることが必要です。自分を知っている人間のみが、本当の強さを獲得し奇跡を起こすことができます。新しい価値を創造することができます。本当の強さを我がものとしてください。

報恩感謝の学び舎、茨城高等学校は常に君を応援しています。

高校卒業おめでとう



高校三年学年主任 打川 直人

大いなる活躍を

君たちは、茨城高校での生活の中で、多くのことを学んできました。特に三年生になってからは誰もが、それまでの日常が当たり前のもではなかったことを知ったはず。近いうちに日常を取り戻す日が訪れることと信じていますが、そのときにこそ忘れてはならない大切なことなのではないでしょうか。その日その日を大切に生きる。



二度と戻ることのないその時々の時を大事にする。これは、世の中がどのように変化していこうとも変わることはありません。他にも、コロナ禍の中で高校三年生という時期を過ごした君たちだけにしか分からないことがあるはず。この経験を君たちは、これからのような時代を作っていくのでしょうか。

学びのスタイル、仕事の形態、人とのつながりなど、私たちの生活の変化は、思いがけず急速に進むことになりました。異なる生活様式、多様な価値観がどんどん生まれ、人と人の距離は物理的にも心理的にも遠ざかっていくでしょう。しかしこのような世の中だからこそ、報恩感謝の学び舎を築立つ君たちの存在が必要なのではないでしょうか。君たちの大いなる活躍を楽しみにしています。卒業おめでとう。



高校三年A組担任 加倉井 東

思い出



十二歳。片田舎から出てきたので友達はなかった。目新しいことばかり、次から次へ学んできた。「何かをつかみたい」と思っていたが、それが何かは分からなかった。その頃の先生はほとんどいない。海野先生と、中野先生。このくらい。思えば私の日常は、(大学も含めて)国道一二三号と五一号の付近にあった。十八歳でこの学校を出て、六十歳で諸君とともに、またこの学校を卒業できる縁に感謝している。まだいるけどね。卒業おめでとう。



高校三年B組担任 遠藤 純

たとえばそれがこんな歌だったら



みなさん、改めて卒業おめでとうございます。初めて一年生の教室に入ったときは、自分の机を一点に見つめて怯えていたみなさんが、顔を上げ、胸を張って受験競争に向かっていく姿は、非常に胸に来るモノがありました。身体的にはもちろん、精神的にも大きく成長したみなさんが、「未来を切り拓く」人間になってくれると確信しています。これから、みなさんの時代ですから、また、会いましょう。



高校三年C組担任 高村 須恵

Just the Way You Are.



大学の入学式当日、キャンパスは華やかで明るい雰囲気にも包まれていた。私は、その片隅で独り、ただ茫然と立ち尽くしていた。喜ばしい日ははずなのに、圧倒的な孤独と不安に押し潰されそう。そんな自分は人生初で、高校までの自分がいかに恵まれた宝石箱の中で生きていたかを思い知った。自由とは無条件の幸福ではなく、常に恐怖と共に在るものなのだ。世界は広い。世界は多様だ。卒業とは、世界と対峙する第一歩である。遅しくあれ、そして君らしくあれ。



Congrats, guys! Now you will advance to the next level. One more step and you will be part of our society.
 Now my message today is about your future. What kind of future do you want? I will give you a piece of advice, borrowing one of my favorite writers' words.
"And, when you want something, all the universe conspires in helping you to achieve it." - Paulo Coelho, The Alchemist
 Yes, first look for what you want to do. If you find one (or if you already have it) want it from the bottom of your heart, then all the universe will help you. Wear passion! It is only yours. YOLO!
 Congrats again, guys, I will miss you. So come visit me sometimes.



Wear Passion
 高校三年E組担任 島 正昭



振り返ってみると、君たちは「〇〇をする最初の代」と言われることが多かった。それに加えて君たちは世界史の教科書に深く刻まれるであろう世界的な災禍のただ中にいる。「受験」というイベントは君たちを一回りも二回りも成長させてくれたに違いない。困難は乗り越えろ。君たちは「自由」を得た。自由という大海原には数々の困難が待ち構えているであろう。「経験に無駄は無し」この言葉を胸に刻み、大海へと漕ぎ出してほしい。君たちの未来に栄光あれ!



経験に無駄はなし
 高校三年D組担任 作山 友孝



これで完成ということもなければ、もう遅いということもない。歩きはじめるかぎり、あたらしい世界は広がっていく。遠回りだと感じていたことが、あとから考えると、あの道を選んだからこそ今がある、と思ったり。迷ったことも、悩んだことも。「知ってる」って閉じてしまわないかぎり、人生は、いつだって可能性に満ちている。あなたの卒業が、いい通過点でありますように。そして、まだ知らないあなたに出会えますように。



人生は、いつだって途中だ
 高校三年G組担任 吉田 尚史



「卒業おめでとう」ございます。新入生として希望に胸を膨らませて入学してから三年の月日が経ちましたが、充実した高校生活は送れましたか。みなさんはこの三年間の学業を無事修了し、いよいよこの学び舎を巣立ち、それぞれの道へ新たな一歩を踏み出すこととなります。次のステップである大学に進学する人は、理由・目標・熱意すなわち「何故入ったのか」「入ったらどうすべきなのか」として「やってやるぞ」という意欲が全部揃ってこそ有意義で本当に充実した大学生活が送れますかがでしょうか。また、言い古されたセリフかもしれませんが「茨城高校の生徒であつたということに誇りを持って」、何事にも前向きにチャレンジして下さい。失敗を恐れずに成功するまでチャレンジを続けて下さい。母校で培われた何物にもとらえられない「事行の精神」をもって、人生街道を邁進していくことを祈っています。たまには担任や母校のことを思い出し遊びに来てくれたら嬉しいですよ!



卒業おめでとう
 高校三年F組担任 鈴木普慈夫



先生からのメッセージ



高校三年学年付 江畑 暢之

茨城高等学校第七十三回、男女共学第二十一期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今の時代、従来の常識が成り立たず、今後どのような未来が訪れるか予測が難しい時代になっています。このような時代だからこそ、知識を得ることはもちろん大切ですが、その知識をどう生かしていくかが大切になってきます。皆さんはこの三年間でこれから生きていく力を身に付けてくれたことと思います。未来に向かって羽ばたいてください。ファイブ!



高校三年学年付 松田 養一

ご卒業おめでとうございます。まずは、コロナ禍の中で無事に卒業されたこと、何よりと思います。今後もしばらくは不透明な日々が続くと思いますが、どんな時にも前向きに歩んでいってください。また、激変が予想される今後の日本の社会においても、志を高く持ち、必要な努力を惜しまずに、ぜひ生き残ってほしいと思います。皆さんの今後のご活躍をお祈り致します。





高校三年学年付

高島 修一

みなさんにとつて、高校生活はどんな毎日だったでしょうか。一人一人にとつて何物にも代えがたい財産になっていくことでしょうか。その大きさが努力した証だと思えます。いくつになっても、本気になって努力すれば…たとえ結果が思うようにいかなかったとしても…。それは新たな一歩を踏み出すかけがえのない経験となり、みなさんを助けてくれるはずで、人生は選択のくり返し、素敵な未来を応援しています。



高校三年学年付

高橋 俊和

卒業おめでとう。向上心に燃える君たちと一緒に過ごせ、幸せな一年でした。

君たちはこんなに恵まれた環境で学べたこと、自分で進路を選べる幸せを感じていますか。今の自分は、家族を始め多くの人達のお蔭であることも。「感謝の気持ち」は向上心の原動力です。

新たな舞台での活躍を心から祈ります。

一生を終えて後に残るのは
我々が集めたものではなく

人に与えたものである。

(シエラル シャンドリ)

～高校卒業にあたって～



三年A組

柴田 慎士

「卒業したくない」これは三年前に地元の中学校を卒業する時に思ったことです。正直、別れを受け入れられませんでした。そんな思いを抱きつつ入学した高校での生活も終わろうとしています。やはり、「卒業したくない」という気持ちはありますが、高校生活で沢山の仲間に出会うことができ、別れは決して悪いことではないと感じました。その別れももう目の前まで来ています。「逢うは別れの始め」です。三年間ありがとうございました。



三年B組

藤澤 怜奈

高校三年は、コロナ禍による突然の休校から始まりました。再開を待ち侘びる中で、当たり前前に学校に通えるありがたさを痛感しました。学校が再開されても行事はなく、授業は選択科目なので、クラス全員が揃う時間は少なかったです。それでも教室に戻ると、ほっとくつろぎました。コロナ禍の日々でさえ楽しかった高校生活も間もなく終わります。茨城中学校・高校への感謝の気持ちを持って、私たちは巣立とうとしています。



三年C組

野村真衣子

当たり前前の生活がいかに幸せであるかを再認識することとなった私たちの青春は、過去の人間が味わったことのないものとなった。仏皇帝ナポレオンの言葉に「なにが状況だ。私が状況を作るのだ。」とある。私は逆境を受け入れ、今ある幸せを追求できる人間に成長したいと思う。最後に、陰ながらではなく最前線で私たちを支えてくださった友達、先生、保護者の方々有り難う御座いました。



三年D組

山田 理貴

すごく楽しくてあつという間で、また様々な事件も多かったりと飽きない六年間でした。この六年間はこれからの人生にいろいろなることを教えてくれて、ヒントになってくれると思っています。そして、「六年間ありがとうございました。友人に伝えたいです。」「悔しくても諦めない。」、このことを茨高で学び、努力に終わりはないと自分を奮い立たせ、わたしのこれからのライフに生かしたいと思います。

本当に、六年間ありがとうございました。



三年E組

平野 楓大

For me, in my third year of high school, there are many things that are fun and painful. But it has become very irreplaceable. I may not be the best student for you, but you are the best teachers and friends for me. We might not see each other again ever but we all remember the wonderful time we had in this school. Best wishes for your future!!



三年F組

清成 開星

熊野へ三度、伊勢へ七度、ということわざのように信仰深くても、どうにもならなかった一年。それが今年度に対する私の率直な意見である。谷よりも深く築けるはずだった友情も、忌々しいウイルスによってその機会を失ってしまった。そんな中でも写真撮影などを些細なことでも仲を深める様子を見た私は手の舞い、足の踏み所を知らず、というようであった。洗濯と机に向かう級友。切迫した空気の中でも、跼天踏地せず、肝胆を砕いて勉強するクラス全体の姿勢には幾度となく励まされてきた。

紀極として、このクラスでの一年に感謝し、艱難、汝を玉にすということを胸に励もうと思ふ。



三年G組

豊田 真也

高校生になったと思つたら、あつという間に卒業を迎えてしまいました。今学年はコロナの影響で休校が長く、文化祭やクラスマッチ等でクラスの絆や沢山の思い出作りが出来ずに残念でした。友人と笑い合ったり一緒に下校したりの日常が私の素敵な思い出です。もう茨城高校の制服を着ることも無くなると思うと、寂しい気持ちでいっぱい。共に高校生活を過ごした友人達とご指導下さった先生方、ありがとうございました！





中学卒業にあたって



三年学年主任
内山 義朗

小学生のあどけない表情の君達の姿を、つい昨日のこのように思い出します。一年生の頃の職員室は、毎日毎日、君達の起こす「事件」のことで大忙しでした。それも今となつては私にとつての懐かしい思い出ですね。中学を卒業する君達に、これからの三年間で意識してもらいたいことは「自立」です。大学進学を機に親元を離れていく人も多いでしょう。進学、就職、結婚…。様々な人達のアドバイスを参考にしながらも、最後は「自分で」決めなければならぬ。それが次々とやってきます。そしてその結果については、良いこともそうでないことも、全て自分で背負うのだ、という覚悟も必要です。そのような君達になつていくために、今の君達に必要なのは、「自分でやれることを親にやらせないこと」、「学業にしっかりと取り組むこと」、「耳の痛い忠告でも素直に聞ける気持ちを持つこと」であると思つています。

私は、慣れ親しんだこの学年を四月からは離れることとなりますが、君達が高校を卒業するまで、見守り、応援し続けたいと思つています。卒業おめでとう。そして、がんばれ二十四期生のみんな！



三年 A 組担任
関口 亜希子

まもなく高校生活がはじまりますね。中学生活たくさん思い出はできましたか？きつと楽しいこともあったと思います。それだけではなく何をやることもうまくいかずつらいこともあったのでは？それも生きていく証し頑張っている証拠。うまくいかず失敗し、その時に自分なりに考え試行錯誤を繰り返し、悩んだ経験が必ず自分の将来に役立つはず。きつと高校でも…何はともあれ三年間よく頑張りました。中学卒業おめでとう。頑張れ高校生の自分！



三年 B 組担任
野口 綾音

中学校ご卒業おめでとうございます。大きいサイズだった制服がぴったりになり、最近ではきついからとブレザーを着るのを嫌がる生徒もいましたね。言葉もだんだん大人びて、心身両面で中学生の成長に驚く毎日でした。

さあ、いよいよ高校に進学です。次の三年間で何を身につけますか？貪欲に、我武者羅に、様々なことに取り組んでください。「何に」取り組むかはあなた次第。皆さんの挑戦とさらなるパワーアップを、楽しみに見守りたいと思います。



三年 C 組担任
熊山 こずえ

ご卒業おめでとうございます。皆さんが三年生になつて初めて出会い、スタートした一年前でした。今、皆さんは十五歳。それぞれが自分と向き合い、将来について考える時です。世界中どこにでも行つて、どんな自己実現をはかることもできます。新たな邂逅を意味あるものに変えられるように、これからも学び続けて下さい。



三年 D 組担任
関 佑太

あつという間の三年間で。初々しく入学した君たちもいまや頼れる中学三年生。良いことも、悪いこともたくさんありました。特に今年度はコロナ禍で様々な行事が無くなり、多くの制限をされながらの一年間でした。心中穏やかでない一年間を過ごしたことでしょう。その中でも、しっかりと学校生活に向き合えた君たちをとて誇らしく思います。四月からは高校生の仲間入りです。自分のやるべきこと・できることに向き合つて精一杯過ごしてほしいと思います。

あつという間の三年間で。初々しく入学した君たちもいまや頼れる中学三年生。良いことも、悪いこともたくさんありました。特に今年度はコロナ禍で様々な行事が無くなり、多くの制限をされながらの一年間でした。心中穏やかでない一年間を過ごしたことでしょう。その中でも、しっかりと学校生活に向き合えた君たちをとて誇らしく思います。四月からは高校生の仲間入りです。自分のやるべきこと・できることに向き合つて精一杯過ごしてほしいと思います。



三年学年付
秋田 拓郎

ご卒業おめでとうございます。コロナ禍により、教育分野では多くの学校でオンライン授業や ICT 教育の推進が図られました。しかし、教育におけるデジタル技術の活用は、先進国の中では日本が最も遅れています。一方で、コロナ禍で DX など「七年前かの変化が一年で起きた」とも言われています。さて、皆さんは変化への備えはできていくのでしょうか？中高での学びを通して「先を見通し、将来を切り拓く力を身につけ」社会に羽ばたいていくことを願っています。



三年学年付
須藤 岳志

研修旅行、体育祭、総体、夏休み、ことごとくなくなつてしまつたこの一年を様々な葛藤と不安の中で君達は過ごした。何で自分たちだけが…、そんな恨み節も聞こえて来る。中世末期のヨーロッパ、腺ペストが流行した。当時の人口の三分の一が亡くなったという大惨事だ。ただ、その大きな禍が「近代」への道筋を拓いたとも言える。今は変化の真つただ中にある。君たちはその変化を担う大きな存在になりうる。好機である。思考せよ、立ち向かえ。

ご卒業おめでとうございます。コロナ禍により、教育分野では多くの学校でオンライン授業や ICT 教育の推進が図られました。しかし、教育におけるデジタル技術の活用は、先進国の中では日本が最も遅れています。一方で、コロナ禍で DX など「七年前かの変化が一年で起きた」とも言われています。さて、皆さんは変化への備えはできていくのでしょうか？中高での学びを通して「先を見通し、将来を切り拓く力を身につけ」社会に羽ばたいていくことを願っています。



三年学年付
渡辺 郁

今日は皆さんの義務教育が終了する門出の日ですね。三年間、皆さんを覗てきましたが、随分変わったと思います。入学当初は日々指示をしてあげないと何も出来なかつたのに、今では様々なことを自分で判断して出来るようになりました。勿論、社会に出るために、まだまだ沢山のことを学び、身に付けていかなければなりません。今日はこの三年間に自分が成し遂げたことを思い起こし、家族とお祝いをして欲しいと思います。卒業おめでとう。



3年間を振り返って



三年A組
荒野 正翔

三年A組学級委員長の荒野正翔です。つい最近中学校に入学したかと思えばもう卒業。時は流れるように過ぎていきました。

自分は中学三年間、野球部に所属していました。最高の仲間と顧問の先生方に巡り会い、様々な喜び、苦しみを経験しました。懸命に練習し、優勝を掴んだ新人戦。あと半歩届かなかった県大会。コロナによりなくなってしまう総体。本当に多くのことがありました。みなさんも三年間の部活動を通して多くのことを学んだことだと思います。

今年度は残念な一年となりました。案外思い出になるのではないのでしょうか。最後に先生方、中学三年間ありがとうございました。



三年B組
水野 光貴

三年前、中学校に入学した。初めてのことがかりで不安だったが、行事や部活動などを通して、たくさんの方の友達が多くなった。

自分たちでつくる体育祭や、クラスで優勝できた合唱発表会などは、最高の思い出だ。

しかし、中学三年は、新型コロナの影響で、休校から始まり、ほとんどの行事が中止になってしまった。学校に通い、友達に会える幸せを、改めて感じる一年となった。そんな中でもできることを考え、クラス対抗リレーを全員で行うことができてよかったと思う。いっしょに考え、協力してくださった先生方にも感謝している。

四月から高校生だが、笑顔あふれる学校生活にしたいと思う。



三年C組
浅野晃一朗

この中学校に入り、大きく成長した点として、第一に学習第二にコミュニケーション力が挙げられます。特にコミュニケーションにおいて、茨中だからこその味わえる、レベルの高い会話や、周囲の高い国語力によって、学習面だけでなく社会人として生きていくために必要となっていく力が育ちました。

高校生活においては、義務教育の修了、将来に向けての学校生活という二点を大きく意識して、大学受験はもちろん、社会に出てからというところを念頭に、現状に妥協せず、周りと競争しながら勉強したいです。高校の内容はもうすでに始まっていますが、中学卒業・高校入学といった節目に、更に勉強に対する意欲を高めたいと思います。

又、人間力においても、もっと多くの人の関係性をもち、社会の集団の一員として自分のできることを、しっかりとこなすというのを抱負として持ち、充実した高校生活を送りたいです。



三年D組
郡司 瑛斗

希望と不安を抱いて制服に袖を通してから早三年が経ちました。まだおぼつかなかった一年生の頃を思うと、今は心身共に成長したと感じます。一概に成長と言っても、家族や先生方、そしてかけがえのない友人達に恵まれて、助けてもらったからこそぞだと思えます。まだ我々は他人の支え無しでは生きていきません。時には反抗的になることもありますが、自立していきこうと思います。

高校生になることを、正直まだ実感できていません。将来もまだ不明瞭ではありますが、今できることから一步一步進んでいきます。

三年間、ありがとう。



令和2年度文化広報委員

茨城中学校

- 松本 理恵 定江 珠美
- 石井 稔子 工藤 直美
- 中野 寛子 高野 瞳
- 岸田 令美 鈴木 幸子
- 高木 優子 作山 元子
- 田中久美子 金明 眞
- 小野慎一郎 井坂 真美
- 富田めぐみ 五十嵐かおる
- 茨城高校
- 佐竹 清美 堺 朋実
- 永井 友希 下宮佐智子
- 久保田留美 友部 尚子
- 寺井 綾子 村上 純子
- 所畑 智美 根本希巴江
- 徳宿恵美子 大形 房子
- 菅野 美貴 松下千佳子
- 渡邊 幸恵 大久保友紀子
- 佐藤 桂子 橋本 晴美
- 金子久美子 柴崎 真由
- 坂本 真紀 関根 菜穂
- 吉成 純子 長谷川恵美
- 笹岡 久美 河合 美佳
- 石塚真由美 一瀬由紀子
- 岡崎真理子 田坂 志穂
- 七字 輝乃

今年は「蒼穹会だより」を休刊いたします。